



【お知らせ】公益社団法人日本理学療法士協会、上田市（長野県）、環境省による「温泉を活かした健康づくりに関する協定書」の締結に係る署名式の実施について

公益社団法人日本理学療法士協会、上田市（長野県）及び環境省は、国民保養温泉地に指定された鹿教湯温泉（丸子温泉郷）等において、国民の健康増進に資する事業を展開し、かつ、新たな温泉地の姿を構築するために、「温泉を活かした健康づくりに関する協定」を締結することと致しましたのでお知らせ致します。

なお、5月16日（月）に環境省において、本協定の締結に係る署名式を行います。また、本報道発表は、公益社団法人 日本理学療法士協会及び上田市と同時発表です。

## 1. 本協定の概要

公益社団法人日本理学療法士協会は、昭和41年の結成から50年にわたり、国民の医療・保健・福祉の増進に寄与することを使命に、国民の健康と福祉の増進並びに障害と疾病の予防に資する事業、学術及び科学技術の振興に資する事業などに努めてきました。今般、温泉地を活用した多職種協働型の宿泊型介護予防・認知症予防事業のプログラムの開発および、理学療法士による専門的な評価とそれを踏まえた具体的な介護予防・認知症予防の実施について、最大限協力を行うこととなりました。

上田市は、人口16万を擁する長野県東部の中核都市で、八ヶ岳中信高国定公園内にある美ヶ原高原と上信越高原国立公園内にある菅平高原に代表される雄大な自然、由緒ある温泉等の個性が際立つ豊富な観光資源を有しており、市内には国民保養温泉地である丸子温泉郷が所在しています。上田市においては、市内の各施設が本事業を滞りなく実施できるよう調整いただくとともに、積極的なPRを行っていく予定です。

環境省は、昭和29年より自然・歴史等が豊かで温泉の効能・湯量が顕著であり、国民の保健休養に資する温泉地を国民保養温泉地として、これまで92箇所指定してきたところです。今般、温泉の保護と適正利用を通じて国民の保健療養に資するとともに温泉地の振興・活性化を推進する観点から、本事業に対し必要な助言を行うほか本事業により得られた成果を広く普及・啓発するため、本協定を結ぶこととなりました。

## 2. 協定書署名式について

日時：平成28年5月16日（月）18:00～

場所：環境省自然環境局長室（合同庁舎5号館26階）

※協定書締結後、署名者等による懇談を予定しております。

### 3. 署名者について

母袋創一（上田市 市長）

奥主喜美（環境省自然環境局長）

半田一登（公益社団法人 日本理学療法士協会 会長）

#### 【 お問い合わせ先 】

公益社団法人 日本理学療法士協会 事務局機能課 主任：野崎展史（のざき ひろふみ）

電話：03-6804-1422 e-mail：nozaki@japanpt.or.jp